

# 第55回全国手話通訳問題研究集会

～サマーフォーラム in いばらき～



## 確かめ合おう 仲間の絆 創ろう新時代

期 間 2022年8月20日(土)～21日(日)  
会 場 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館  
(茨城県総合福祉会館) オンライン配信拠点



筑波山

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟／一般社団法人全国手話通訳問題研究会

主管：一般社団法人茨城県聴覚障害者協会／茨城県手話通訳問題研究会

後援：内閣府／厚生労働省／文部科学省／茨城県／水戸市／ひたちなか市／笠間市／茨城県議会／茨城県教育委員会／笠間市教育委員会／社会福祉法人茨城県社会福祉協議会／社会福祉法人茨城県共同募金会／一般社団法人茨城県身体障害者福祉団体連合会／特定非営利活動法人茨城県中途失聴・難聴者協会／茨城盲ろう者友の会／国立大学法人筑波技術大学／茨城県立水戸聾学校／茨城県立霞ヶ浦聾学校／水戸聾学校同窓会／霞ヶ浦聾学校同窓会／茨城新聞社

協力：茨城県手話通訳者協会／茨城県要約筆記者協会／特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会北関東ブロック茨城支部

### <事務局>

「第55回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラム in いばらき～」実行委員会

〒310-0844 茨城県水戸市住吉町 349-1

茨城県立聴覚障害者福祉センター「やすらぎ」内

一般社団法人 茨城県聴覚障害者協会 気付

TEL 029-248-0882 FAX 029-246-0998

E-mail summer.fm.iba2022@gmail.com

集会用ホームページ URL <https://ibk55thzentsu.wixsite.com/my-site>

茨城県は、<sup>ひたちのくにふどき</sup>常陸国<sup>とこよ</sup>風土記で「常世の国（<sup>ほうじょう</sup>豊穰・穀物をもたらす「<sup>こくれい</sup>穀霊の<sup>ふるさと</sup>故郷）」と謳われたように、日本屈指の農業地帯です。県土に占める農地の割合は全国1位であり、農業産出額は北海道、鹿児島に次ぐ第3位（2021年度）となっています。特にメロンや栗の生産量は全国1位で、ケーキ作りには欠かせない県といえます。また、茨城県には、JAXAや筑波大学の他、国の研究機関が多く集まっており、さらに、世界で初めて科学万博を開催した県、工場立地面積日本一、といったことから、日本の工業や科学技術を支えている県でもあります。

さて、現在の社会情勢に目を向けてみます。2022（令和4）年2月22日、旧優生保護法により障害者らへ強制断種・強制不妊手術が行われたことについて、大阪高裁は初めて被害者に対して国家賠償請求訴訟に基づき国に賠償を命じました。各地の地方裁判所でも審理が続いています。今後も人権回復運動に繋げる必要があります。また、わが国は「障害者権利条約」批准に向けての国内法整備の一環として「障害者差別解消法」が施行され6年が経ちましたが、ろう者・難聴者等にとっては、手話通訳・要約筆記等を含め意思疎通におけるバリアフリー化は十分達成されたとはいえません。情報取得や意思疎通がしやすい環境整備のための「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法案」の法制化をめざし、全国の仲間が協力し、共生社会の実現につなげられるようにしていきましょう。それに関連して「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律」（2020（令和2）年法律第53号）が制定され、昨年7月より開始した電話リレーサービスによって、聴覚障害者が電話を利用する<sup>ひんど</sup>頻度が増えるだろうと期待しています。今後、私たちがより利用しやすいように積極的に意見を出していきましょう。

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により、一昨年の石川集会は中止となりましたが、昨年の山形集会はオンライン開催とすることで、サマーフォーラムとしては過去最高の参加者となりました。今年も感染状況が長引く中でオンライン開催とし、さらに充実発展した内容になるよう計画を進めてまいりました。全日ろう連、全通研にとっての「仲間の絆」とは何かを考え、世界一の絶景と言われるネモフィラで有名な国営ひたち海浜公園のある茨城の地から、全国の仲間をバーチャルで繋いで、有意義な討論・交流を実現させていきます。

実行委員一同、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

## サマーフォーラム in いばらき 日程表



### ■第1日目 2022年8月20日(土)

9:30	10:00	10:30	11:00	12:30	13:30	15:00	15:30
受付	開会式	特別講演	記念講演	昼休憩	分科会1 「手話通訳の仕事と活動」 分科会2 「手話をひろめる」 講座(入門)	諸連絡	

### ■第2日目 2022年8月21日(日)

9:30	10:00	10:10	11:40	12:40	14:10	14:30	15:00
受付	諸連絡	分科会1 「手話通訳の仕事と活動」 分科会2 「手話をひろめる」 講座(コミュニケーション)	昼休憩	分科会1 「手話通訳の仕事と活動」 分科会2 「手話をひろめる」 講座(福祉と人権)	休憩	閉会式	

※ 集団視聴会場参加者の方は、上記の受付の時間帯に地域の会場で受付をお願いします。  
個人視聴の方は、受付はありません。開始時間までに YouTube を接続しておいてください。

## プログラム



- 【開会式】 2022年8月20日(土) 10:00~10:30 <生配信>  
会場 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館(茨城県総合福祉会館)  
オンライン配信拠点
- 【特別講演】 2022年8月20日(土) 10:30~11:00 <事前収録>  
厚生労働省 社会・援護局  
障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室担当者
- 【記念講演】 2022年8月20日(土) 11:00~12:30 <生配信>  
テーマ「(仮)社会福祉とロボット/癒しロボットの開発を通じて」  
講師 しばた たかのり 柴田 崇徳 氏  
所属 国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
上級主任研究員 東京工業大学特定教授
- 【閉会式】 2022年8月21日(日) 14:30~15:00 <生配信>  
会場 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館(茨城県総合福祉会館)  
オンライン配信拠点
- 【講座/分科会】 2022年8月20日(土) 13:30~15:00 <事前収録>  
21日(日) 10:10~11:40 12:40~14:10



## 【講座】〈入門〉

ろうあ運動や手話通訳運動の意義や歴史についてともに学びましょう。

1

テーマ「 後報 」

講師 一般財団法人 全日本ろうあ連盟理事（調整中）

2

テーマ「全通研って、なあに？」

講師 一般社団法人 全国手話通訳問題研究会 副会長 はしもと ひろゆき 橋本 博行 氏（予定）

全国手話通訳問題研究会は「聞こえない人の暮らしを見つめ、聞こえない人の暮らしから学ぶ」を運動の理念として活動しています。障害者福祉の考え方や制度が大きく変わってきた現在、聞こえない人の暮らしが見えにくくなっています。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行によって、福祉制度や手話通訳制度の脆弱性が顕著になりました。だれもが安心して暮らせる社会をめざして運動を高めていきましょう。

## 【講座】〈コミュニケーション〉

ウィズコロナおよびアフターコロナ期での聴覚障害者のコミュニケーション方法についてともに学びましょう。

テーマ「 後報 」

講師 一般財団法人 全日本ろうあ連盟青年部長（中央委員長） しみず あいか 清水 愛香 氏

## 【講座】〈福祉と人権〉

自分らしく生きる権利「人権」は社会の中で福祉とどう結びついているのか、人権を尊重した社会とはどんな社会か一緒に考えましょう

テーマ「聴覚障害者のセルフアドボカシースキルを育てる筑波技術大学」

講師 国立大学法人 筑波技術大学学長 いしはら やすし 石原 保志 氏

「アドボカシー」という言葉を聞いたことはありますか？「アドボカシー」とは権利擁護（けんりようご）という意味です。聴覚障害者にとって権利擁護とは？

日本で唯一の聴覚障害者、視覚障害者のための国立大学の学長石原氏にわかりやすくご講演いただきます。



## 【お知らせ】

今年度は、昨年度のやまがた集会で得た経験を基に、さらに進化させるべくオンラインによる2分科会を開催します。2020年度に提案していた新しい構成の6分科会を2つに分けていますので、地域の取り組みをまとめ、当てはまる分科会にレポートを提出してください。

分科会は、レポート発表をもとに発表者、司会者、共同研究者が討議を行い、参加者はその討議の様子を視聴して学習します。従来 of 討論形式ではありませんが、新しい試みにぜひご参加ください。

## I 手話通訳の仕事と活動

きこえない人の社会参加を促進するために、きこえないことや手話について理解者を増やすことが必要です。理解者を増やすことは、ともに活動する人を増やし、制度を拡充していくことに繋がります。今後、きこえない人もきこえる人も、すべての人々がお互いを尊重し、ともに暮らしやすい社会をめざして課題を解消するために何ができるのかを一緒に考えましょう。

### ① 仲間づくりと学習

これまできこえない人や手話通訳者に関わるさまざまな課題の解決に向け、私たちは仲間とともに運動を展開してきました。手話通訳や手話サークル活動、地域、職場できこえない人と関わる人たち、福祉、医療、教育の専門家、若い世代など多様な人たちに働きかけ、ともに運動する「仲間づくり」について考えましょう。

#### ◆討論の柱◆

- ・ 学習会の目的とその役割、課題や改善策について考えよう
- ・ 手話サークルや地域班の仲間づくりについて考えよう

### ② 手話通訳の仕事

手話通訳者の業務内容は、障害福祉分野のみならず、医療、教育、生活、司法、労働、社会参加など多岐にわたります。

近年、障害者差別解消法の施行、手話言語条例の制定、地域共生社会の取り組みなど、社会情勢は変化し、コロナ禍で遠隔手話サービスや電話リレーサービスといったデジタル社会でのオンラインを活用した情報保障など、手話通訳業務の広がりがみられます。手話通訳業務ときこえない人への支援について情報交換し、「手話通訳の仕事」についての議論を深めましょう。

#### ◆討論の柱◆

- ・ 手話通訳者の業務を振り返り、専門性や健康問題を考えよう
- ・ 社会的要請に応える、きこえない人たちが望む（求める）手話通訳者像とは？

### ③ 手話通訳制度・しくみづくり

きこえない人の社会参加には、各分野の情報保障やコミュニケーション保障が必要です。手話通訳制度が拡充し、医療、教育、労働、災害時など合理的配慮がなされるよう、「手話通訳制度・しくみづくり」について考えましょう。

### ◆ 討論の柱 ◆

- ・ 市町村事業と都道府県事業の実施状況と問題点・課題について考えよう
- ・ 手話通訳者の養成、認定、設置、派遣の制度の課題と取り組みについて考えよう
- ・ 養成についての連携のあり方（大学等での手話通訳者の養成）について考えよう

### 【参加者例】

- ・ ろう者関連団体、施設、行政、教育、医療機関等で手話通訳に関わる職員
- ・ 手話通訳者
- ・ 行政および団体等の手話通訳派遣事業所に手話通訳者として登録されている方
- ・ 教育・医療機関等に手話通訳者として登録されている方
- ・ 手話サークル会員、次世代メンバー、支部等の組織担当および学習・研修企画担当者
- ・ その他、この分野に興味や関心のある方

### 【過去のレポート（参考）】

- ① ・ 『「サークルとろう高齢者との関わり」～ろう者の背景を学び、地域社会へつなぐ役割～』 広島支部  
・ 「静岡市役所の職員が展開する『静岡市職員手話サークルが熱い！』」 静岡支部  
・ 『「集まろう若者たち」からN-Action 班へ」 長野支部  
・ 「大通研 N-Action の発足とこれから」 大阪支部  
・ 「全通研宮崎支部 N-Action の取り組み」 宮崎支部  
・ 「地域班づくりの取り組みについて」 埼玉支部
- ② ・ 「コーディネート業務の専門性を高める取り組み」 東京支部  
・ 「登録手話通訳者班の活動」 埼玉支部  
・ 「専従手話通訳者に求められること～手話通訳者現任研修会から考える～」 北海道支部
- ③ ・ 「目指すべき手話通訳制度とは」 鳥取支部  
・ 「三重県意思疎通支援事業に関する実施状況調査の取り組み」 三重県聴障協／三重支部  
・ 『「埼玉聴覚障害者情報センター中長期計画検討委員会」の取り組みについて」 埼玉支部  
・ 「舞台手話通訳養成と実践～芸術文化における手話通訳～」 東京都聴覚障害者連盟

## Ⅱ 手話をひろめる

2013（平成25）年10月11日に全国で初めて鳥取県で手話言語条例が施行され、その後条例制定は全国各地に拡がりを見せており、2022（令和4）年4月21日現在では451の自治体に及んでいます。この手話をひろめる取り組みが、全国各地で受け入れられている背景には、全国の仲間の活動が大きな力になっています。

手話言語の普及のみではなく、手話が使いやすい環境をどのように整えていくのか。そして、成立した手話言語条例をどのように活用していくのかなど、手話をひろめる取り組みについて共に考えましょう。

### ① 地域でいきいきと暮らすために

障害者差別解消法の施行や手話言語条例の制定が拡がる中、きこえない人の暮らしはどう変わ

ったのでしょうか。子育て、就労、高齢化、防災など地域におけるきこえない人の課題を出し合い、すべての人がいきいきと暮らすことができる地域づくりについて考えましょう。

◆討論の柱◆

- ・ きこえない人の子育て、就労、高齢化、健康、防災、その他、暮らしの中のさまざまな課題について考えよう
- ・ すべての人が、地域でいきいきと暮らすための取り組みについて考えよう

② 手話の拡がりを感じる社会に

障害者差別解消法施行、手話言語条例の拡がりなどで、きこえない人の社会参加が拡大する一方で、手話での日常会話や、手話通訳ができる人材が求められています。

「手話がきこえない人の生活で使われる言語であること」、「きこえない人のよりよい暮らしやろう運動についての理解」が望まれている手話奉仕員養成や手話通訳者養成も含め、手話を拡げるための取り組みには、どのような視点が必要なのかみんなで作らなう。

◆討論の柱◆

- ・ 手話啓発の視点での手話講座、手話奉仕員養成講座、手話通訳者養成講座等のあり方について考えよう
- ・ きこえない人の暮らしやろう運動について学び、身近に感じてもらうための講座づくりを考えよう
- ・ 指導方法、テキストの使い方などについて考えよう（地域・大学等の養成も含む）

③ 身近な課題を社会の課題に

全国の仲間の運動が、きこえない人や手話通訳者に関わるさまざまな課題を解決する原動力となってきました。

全国の自治体で制定が進んできた手話言語条例や情報コミュニケーション条例、差別解消に関わる条例などの取り組みと課題について考えましょう。

また、現在地域福祉計画、障害者計画など、市民、県民を巻き込んでの取り組みと制度、しくみについて考えましょう。

◆討論の柱◆

- ・ 各地の制度改革や政策提言の運動と課題について考えよう
- ・ 手話言語条例や情報コミュニケーション条例等の取り組みについて考えよう
- ・ 地域課題の解決に向けて他団体と連携する取り組みについて考えよう
- ・ 地域福祉計画、障害者計画等、社会的合意に向けての取り組みについて考えよう
- ・ 差別解消、合理的配慮の取り組みについて考えよう

【参加者例】

- ・ 手話学習者、手話サークル会員
- ・ ろうあ者相談員
- ・ ろう者関連施設関係者
- ・ きこえない人に関わる専門機関および事業所関係者、医療関係者、行政関係者
- ・ 手話奉仕員養成、手話通訳者養成等の手話学習に関わる方。
- ・ その他、この分野に興味や関心のある方。

【過去のレポート（参考）】

- ①
  - ・「全通研島根支部医療班の活動報告」 島根支部医療班
  - ・「長崎県高齢聴覚障害者実態調査報告」 長崎支部
  - ・「聴覚障害児と共に過ごした6年間の軌跡と支部活動」 山梨支部
  - ・「聴覚障害者の医療と合理的配慮について－医療プロジェクトチームの取り組み－」 埼玉支部
- ②
  - ・「手話通訳者養成講座修了者への手話通訳者全国統一試験合格に向けた学習支援の取り組み」 宮城支部
  - ・「手話奉仕員養成への取り組み」 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 手話普及事業担当者
  - ・「東京都の手話通訳者等養成事業と東京手話通訳等派遣センター独自の手話講座の現状と課題」 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟
  - ・「国家資格化を踏まえた手話通訳者養成カリキュラムの検討にむけて」 群馬支部
  - ・「どうすれば早く手話が上達するのか ろう者に伝わる手話表現の習得のために」 大阪支部
  - ・「手話講習会におけるLGBTへの配慮」 東京都聴覚障害者連盟
- ③
  - ・「北海道における『手話言語条例』制定に向けての取り組みについて」 北海道支部
  - ・「リレー通訳者と聴通訳者の協働 - 沖縄聴覚障害者情報センターの事例 -」 一般社団法人沖縄県聴覚障害者協会 沖縄聴覚障害者情報センター
  - ・「けいわん予防のための豆州（伊豆）ストレッチ DVD の作成」 静岡支部
  - ・「聴覚障害者の視点に立った防災対策プロジェクト～地域に根ざしたネットワークづくり活動の記録～」 愛知支部
  - ・「『平成 29 年 7 月九州北部豪雨』を振り返って～防災検討報告～」 大分支部 防災担当
  - ・「災害対応カードゲーム教材『クロスロード（聴覚障害者編）』作成の取り組み」 三重支部
  - ・「防災に関する九州ブロックでの取り組み」 九州ブロック
  - ・「防災プロジェクトチームの取り組みについて」 埼玉支部
  - ・「まさか、まさかの大阪北部地震－ブロックセンターの役割」 大阪支部

申し込み方法



1、集会参加費・参加申し込み方法について

参加費		講座・分科会	参加申し込み方法
主催団体 会員	4,500 円	講座・分科会 1・分科会 2 から 1 つ 選択します。 2 日間通して同じものに参加となり、 途中変更はできません。	申し込み書（集会ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入し、参加費を添えて 6 月 10 日（金）までに各都道府県の（一財）全日本ろうあ連盟加盟団体（以下、全日ろう連加盟団体）または（一社）全国手話通訳問題研究会支部（以下、全通研支部）へご提出ください。
一般 参加者	7,000 円	講座のみ選択となります。（分科会 1 と分科会 2 には参加できません。）	
留意点	1 日のみ参加の場合も 2 日間の参加費をいただきます。		
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全日ろう連加盟団体または全通研支部に参加申込書を提出した時点で、申し込み完了となります。申し込み完了後のキャンセルにつきましては、いかなる場</li> </ul>		



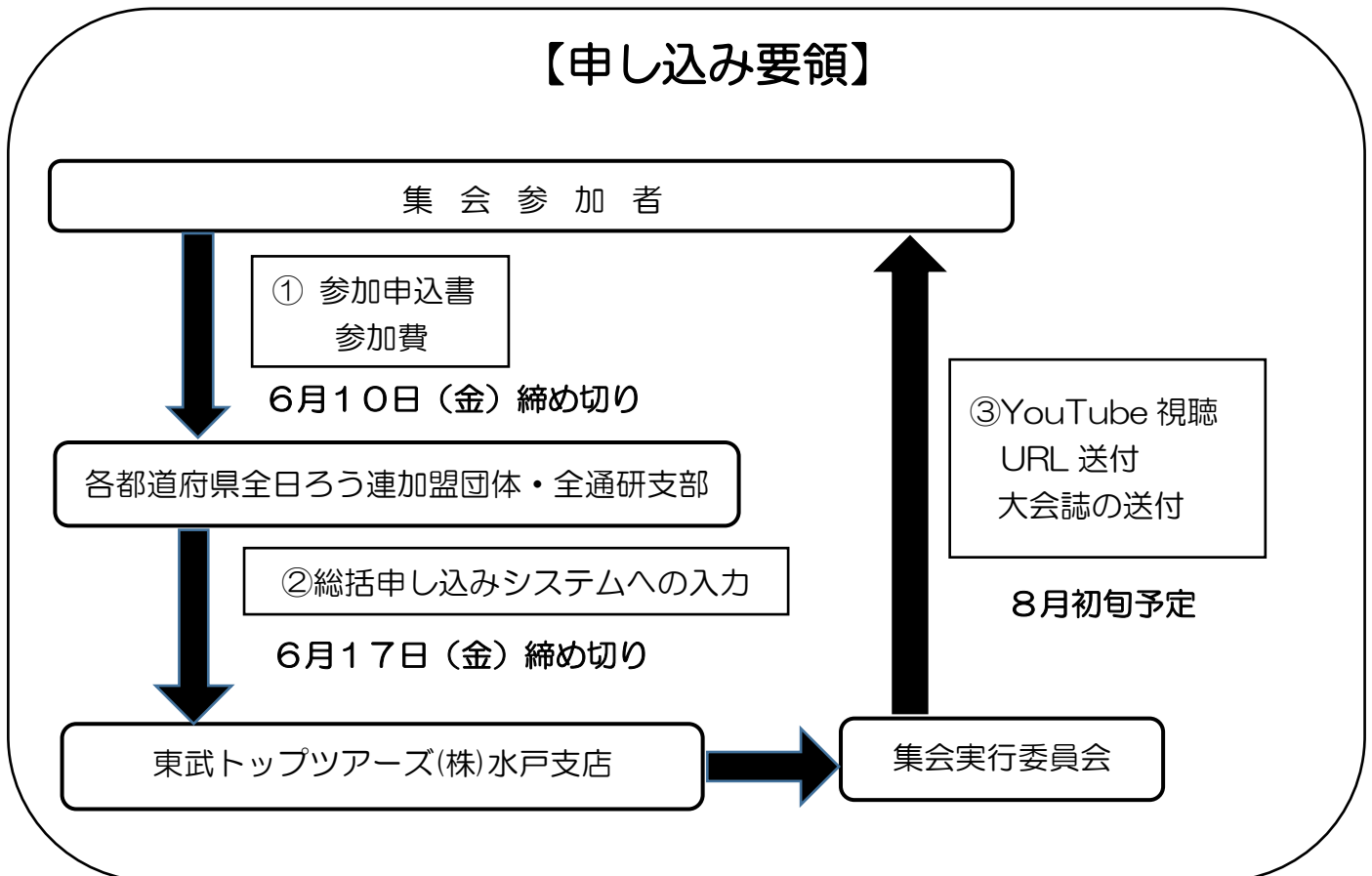
	<p>合も参加費は返金できませんのでご了承ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人で東武トップツアーズ（株）水戸支店、実行委員会のアドレスに直接申し込むことはできません。</li> <li>申込書をメールで送る方は、申し込みをする全日ろう連加盟団体または全通研支部にメールアドレスを問い合わせてください。</li> <li>申し込み手続き終了後、大会誌と YouTube 視聴のための URL を送付いたしますので、メールアドレスの記入間違いがないようにしてください。</li> <li>集団視聴を希望する方は、申し込みをする全日ろう連加盟団体または全通研支部に問い合わせをしてください。</li> </ul>
--	--

**【各都道府県の全日ろう連加盟団体、全通研支部統括責任者の方】**

- 申込書を取りまとめの上、総括申し込みシステムに入力をお願いします。総括申し込みシステムに関する説明書を後日統括責任者に送らせていただきます。
- 団体集計表は総括申し込みシステムへ打ち込むと管理画面で確認できます。管理画面から追加・修正・削除も可能です。
- 申込書は貴団体で今集会終了まで保管をお願いします。
- 参加費は後日請求書をお送りしますので、記載された口座へまとめてお振り込みください。
- 東武トップツアーズ（株）水戸支店は、入力いただいた個人情報に関しまして、本集会に関する目的以外には一切使用いたしません。

**2、キャンセルについて**

- 申し込みをした全日ろう連加盟団体または全通研支部へ連絡してください。その後、統括責任者が申し込みシステムよりキャンセルをしてください。



### 3、情報保障について

- 手話通訳と字幕を用意します。

### 4、配信について

- YouTube の視聴環境によっては、配信が途切れたり映像が乱れたりする場合があります。
- 固定回線に接続された有線、もしくは Wi-Fi でのご利用を推奨します。
- サマーフォーラム専用 YouTube チャンネルは、集会数日前から開設しますので、予めチャンネル登録を済ませておいてください。詳細は速報や集会ホームページでお知らせします。
- 大量のデータ通信が必要となる可能性があります。ご利用プランをお確かめの上で視聴してください。
- 配信映像の撮影、録音、録画、および宣伝行為などの転用を一切禁じます。
- スマホ、タブレット、パソコンの操作やインターネット環境など、技術的なことに関する問い合わせはご遠慮ください。
- 集会終了後、見逃し配信を予定しています。詳細は速報や集会ホームページでお知らせします。

### 5、分科会レポートの作成および発表について

#### (1) レポート作成者の留意事項・提出締め切りなど

レポート集	レポート書式 (Word 作成 → PDF 変換) と提出票	
集会参加者全員に配布する「大会誌 (レポート集)」を作成しています。 事前にレポートを読んでおくことで、発表者の話も分かりやすくなります。 今回は、討議はありません。	① 枚数	原則 A4 縦 / 片面 2 枚以内。
	② 余白	上下各 25mm、左右各 20mm
	③ 字数	1 枚あたり横書きで 35 字 × 40 行 = 1,400 字 (1 段組)
	④ 文字種	「明朝体」、「11 ポイント」
	⑤ タイトル	レポート作成者、所属団体の記載 (全日ろう連加盟団体または全通研支部) は 5 行分使用する。
	⑥ レポート作成	Word で作成し、できるだけ PDF に変換してご提出ください。そのまま印刷します。
	⑦ 提出票	発表分科会名 / レポートタイトル / 所属団体および発表者名 / 特記事項 (発表の順番等の希望) を記入した『レポート提出票』を添えてご提出ください。

レポート提出〆切日	提出先 (送信先)
6月10日 (金) まで 電子データ (PDF) で送信	各都道府県の全日ろう連加盟団体 または、全通研支部

集約したレポート提出〆切日	提出先 (送信先)
6月17日 (金) 厳守 電子データ (PDF) で送信	E-mail : NRASLI@zentsuken.net 一般社団法人全国手話通訳問題研究会

	「サマーフォーラム レポート」係 (〒602-0901 京都市上京区室町通今出川下ル 織維会館内)
--	---



レポート発表の事前収録について	
分科会はオンラインで行います。当日の機械トラブルや情報保障の不備を防止するためレポート発表等は事前収録とします。	
事前収録 対象者	<u>事前収録はオンラインで行います。レポート発表と司会者・共同研究者との討議です。(参加者は視聴のみとなります)</u>
事前収録 日程など	<u>Zoom URL、ID、PW、収録日程については、後日、実行委員会から連絡いたします。</u>
発表資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>必ず PowerPoint でお願いいたします。</u></li> <li>• <u>発表者が聴覚障害者の場合は、発表する地域の方に読み取り通訳をお願いいたします。</u></li> <li>• レポート発表の時間は限られています。討論したいことが参加者に分かりやすいよう、的確にまとめてください。</li> </ul>
その他	発表や討議の事前収録の詳細については、実行委員会から連絡いたします。

## (2) レポート提出にあたって

- レポートには、作成者が所属する各都道府県の全日ろう連加盟団体名または全通研支部名を必ず記入してください。
- 個人名、事業所名だけでは提出できません。

## 地域で、継続的なレポートづくりを

### (1) さまざまな地域の実践の取り組みをレポートに

レポート作成にあたって、これまでの実践や活動などの取り組みの記録を振り返りながらまとめることが大切です。サマーフォーラムを日々の学習や活動の節目と位置付け、全国各地の仲間との学習、交流を通して、今後の取り組みの方向性を明らかにしていきましょう。

### (2) 組織的なレポートづくりを

まとめる際、さまざまな人の目を通したレポートづくりに努力しましょう。一つひとつの事実がどのような意味を持っているのかなど、みんなで話し合いながら、自分たちの取り組みをまとめてみましょう。

### (3) 継続したレポートの発表も

分科会では、討論の最後に次の集会までに取り組む課題を確認し合います。確認された課題がどのように取り組まれたかは、おおいに期待されています。

## 報 告 書



- 今集会の報告は、茨城実行委員会の集会ホームページに掲載しますのでご覧ください。

## ◆お問い合わせ先◆

### <申し込みについて>

東武トップツアーズ（株）水戸支店

〒310-0083 茨城県水戸市城南町 2-1-20 井門水戸ビル 6 階

TEL 029-224-6627

FAX 029-224-9253

営業時間 9:30~17:30（土日祝休み）

### <集会について>

「第 55 回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラム in いばらき～」実行委員会

〒310-0844 茨城県水戸市住吉町 349-1

茨城県立聴覚障害者福祉センター「やすらぎ」内

一般社団法人 茨城県聴覚障害者協会 気付

TEL 029-248-0882 FAX 029-246-0998

E-mail summer.fm.iba2022@gmail.com

集会用ホームページ URL <https://ibk55thzentsu.wixsite.com/my-site>